



令和元年度6次産業認定事業者  
**株式会社ベルウッドヴィンヤード**  
 代表取締役 **鈴木 智晃さん**

こだわり抜いたワイン造りで、上山を人が集う場所に。



経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

県内のワイン会社で19年間、ぶどう栽培とワイン造りに携わるうちに、小規模でも自分が思い描くワインを造りたいと独立を決心しました。

上山市が進めるワイン活用による地域活性化を目指す「かみのやまワインの郷プロジェクト」の支援を受け、平成29年にぶどう栽培（75a）を始め、31年4月にベルウッドヴィンヤードを設立しました。

ワイナリー裏手の自社畑では、南斜面と北斜面のそれぞれにあった複数の欧州品種を植え、品種特性を引き出す栽培に取り組んでいます。

また、自社畑のぶどうだけでなく、地域の生産者からもぶどうを仕入れ、品質にこだわったぶどうで納得のいくワイン造りをともに目指しています。



こだわりの詰まったワインとともに（鈴木代表）

ホームページ <https://bellwoodvineyard.com>



農業やワイン造りの魅力をお聞かせください。

その年の気候等に左右され、ぶどうの品質は異なることから、その年のぶどうの良さを引き出すワイン造りを心がけています。

思い描いたワインが完成し、お客様に飲んでいただき、美味しいと言ってもらえることがワイン造りの魅力です。

ぶどう栽培の苦労がわかるからこそ、美味しいワインが出来た喜び、お客様の喜びの声を生産者の皆さんとともに分かちあえることも魅力となっています。



今後の目標や夢、将来展望をお聞かせください。

弊社のワインを飲めば、当ワイナリーから望む蔵王連峰の美しい景色を思い出してもらえたいことを目指しています。

ワイナリーが人の集う場となり、地域に人を呼び込むことで、「かみのやまワインの郷プロジェクト」の一員として、上山市の地域活性化にひと役買いたと思っています。



蔵王連峰を望む自社畑 ワインで地域の活性化を